

「国内資源由来肥料の利用拡大プロジェクト」 を開始します！

国内資源由来肥料の利用拡大に向け、
全国推進協議会会員を対象に3つの取組を通じて、
全国各地で国内資源由来肥料の利用拡大に取り組む
「ヒト」や「情報」のネットワーク化を図り
各地域における取組を後押ししていきます。

1

国内資源由来肥料の 利用に関する 知見の集約



新たに国内資源由来肥料を利用しようとする際に、参考となる情報や関係者に容易にアクセスできるよう、国内資源由来肥料に関する各地域の栽培実証データ等を一元的に集約し、会員へ提供します。

情報収集する項目

- | | | |
|---------|---------------|-------------|
| ✓ 地域 | ✓ 肥料の特徴 | ✓ 留意事項 |
| ✓ 作物 | ✓ 肥料の施用方法・施肥量 | ✓ その他関連情報 |
| ✓ 栽培体系 | ✓ 土壌の特徴 | ✓ 担当者 |
| ✓ 肥料の種類 | ✓ 慣行栽培との比較 | ✓ 備考欄 |
| ✓ 保証成分 | ✓ 導入メリット | (当該データの出典等) |

実施手順

- ① 会員から栽培実証データ等を登録。【協議会HPにおいて随時受付】
- ② 収集データをデータベース化し、地域や作物、肥料の種類等を指定して検索可能な形で会員へ提供。【7月～】

データベース化（会員へ提供するデータリスト）のイメージ

※ データ等登録に当たっては、必ずしも全ての項目を登録いただく必要はなく、登録可能な項目のみで可。

地域	作物	栽培体系	土壌の特徴	主な国内資源の種類	肥料の種類	保証成分（％）			肥料の特徴	肥料の施用方法・施肥量
						窒素	りん酸	加里		
福岡県	麦	麦－水稻輪作	細粒質普通低地水田土	牛ふん 鶏ふん	混合堆肥複合肥料	4.0	3.2	3.1	・施肥と土づくりを兼ねることが可能。 ・肥料成分を低く設定しているため、堆肥として多量に施用でき、高い土づくり効果を発揮。	・麦追肥として1回施用。（慣行化学肥料区では、2回追肥。） ・混合堆肥複合肥料400kg/10aを2年間連続施用。
岡山県	キャベツ	年内どり（夏まき）	典型台地褐色森林土など	牛ふん	混合堆肥複合肥料	10.0	3.0	7.0	・牛ふん堆肥と苦土・ホウ素及び緩効性肥料を混合しているため、土づくりと施肥を同時に行うことができ、かつ追記を省略することが可能。	・地域慣行肥料と同様の窒素施用量になるよう、全量を基肥に使用（250kg/10a）。
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

慣行栽培との比較	担当者	備考（詳細データ等）
・小麦の収量は、慣行化学肥料区より31～43%増加。後作の水稻収量は17%減少～2%増加。 ・2年間の平均輪作収入は、慣行化学肥料区に比べ1,000円/10a程度の増加。	農研機構・九州沖縄農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム	https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/133583.html 農林水産省委託プロジェクト有機質資材コンソーシアム編（2020） 技術マニュアル 混合堆肥複合肥料の製造とその利用～家畜ふん堆肥の肥料原料化の促進～
・土壌中無機態窒素含量は、慣行分施肥区と同等以上で推移。 ・キャベツの結球収量は、2か年とも慣行分施肥区と同等。 ・施肥コストは、慣行分施肥区よりも約6,700円/10a低減。	農研機構・九州沖縄農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム	https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/133583.html 農林水産省委託プロジェクト有機質資材コンソーシアム編（2020） 技術マニュアル 混合堆肥複合肥料の製造とその利用～家畜ふん堆肥の肥料原料化の促進～

⋮ ⋮ ⋮

2

国内資源由来肥料 に関する取組内容 等の発信



各会員の多様な取組内容を広くPRするため、会員が製造する国内資源由来肥料や、会員による国内資源由来肥料の利用事例等の情報を発信します。

発信する取組の例

- ✓ 現在製造している（新たに製造する）国内資源由来肥料の紹介
- ✓ 国内資源由来肥料の導入事例
- ✓ 消費者等に対する情報発信の取組 等

実施手順

- ① 会員から取組内容等を登録。
【協議会HPにおいて随時受付】
- ② 整理できた取組から順次、協議会HPに掲載。

〇〇株式会社

国内資源〇〇を使った肥料「××」の販売を開始します！

（取組概略）

.....



農業法人△△

地域内の養鶏業者の鶏ふんを使用した堆肥入り複合肥料の実証を開始しました。

（取組概略）

.....

□□市

下水汚泥資源の肥料利用に関するPR動画を作成・公開しました。

（取組概略）

.....

◇◇生産部会

新たに混合堆肥複合肥料の実証に取り組み、慣行化学肥料区に比べ収量が10%増加しました。

（取組概略）

.....

3

国内肥料資源利用 推進ロゴマークの 作成



ロゴマークは
公募により選定

国内資源の利用拡大に関する取組を更に促進するため、各会員のHP等への掲載など広報活動への利用や、国内資源由来肥料に添付可能なロゴマークを作成します。

ロゴマークの利用例

✓ 企業・団体のパンフレットやHPへの掲載

✓ 肥料包装への貼り付け



実施手順

- ① ロゴマークのデザインを公募。【6月】
- ② 会員の投票等により、デザインを選定。【～7月】
- ③ デザイン選定後、会員から利用申請を受け付け。【7月～】



国内肥料資源の利用拡大に向けた
全国推進協議会

